

抗 Taf11p 抗体

免疫動物：ウサギ

ポリクローナル 抗血清

62-017 50 μ l,

62-018 250 μ l

基本転写因子 TFIID は、真核生物の遺伝子発現調節において中心的な役割を果たすことが知られており、TATA ボックス結合タンパク質 (TBP) と 14 種類の TBP 随伴タンパク質 (TAF) から成る巨大なタンパク質複合体である。TFIID は、転写開始点近傍に存在する各種のコアプロモーターエレメントを直接認識して結合し、他の基本転写因子群が集合するための足場を形成するとともに、転写調節因子に由来する転写活性化シグナルを RNA ポリメラーゼ II に伝達する役割を持つとされている。Taf11p は TFIID サブユニットの一つであり、出芽酵母の場合、346 個のアミノ酸残基 (aa) から構成される。

本品は、出芽酵母 TAF11 遺伝子にコードされる Taf11p タンパク質の N 末端領域 (1-176aa) をプラスミドにクローニングし、大腸菌で多量に発現させ、クロマトグラフ法により精製したリコンビナントタンパク質をウサギに免疫して作製した。

本品を抗血清として用いたウエスタンブロットにおいて、出芽細胞抽出液中に Taf11p の約 45 kD のバンドが検出された (図 1)。

用途

出芽酵母 Taf11p の検出や定量を目的としたウエスタンブロット法や ELISA 法に使用できる。

製品の性質

性状：0.1%アジ化ナトリウム添加抗血清

保存：4℃

データリンク SGD [TAF11/YML015C](#)

文献

1. Tora L “A unified nomenclature for TATA box binding protein (TBP)-associated factors (TAFs) involved in RNA polymerase II transcription.” *Genes Dev* **16**: 673-675 (2002) PMID: [11963920](#)
2. Takahata S et al “Autonomous function of the amino-terminal inhibitory domain of TAF1 in transcriptional regulation.” *Mol Cell Biol* **24**: 3089-3099 (2004) PMID: [15060133](#)

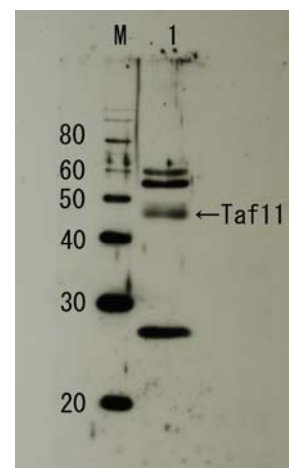


図 1 抗 Taf11p 抗体を用いたウエスタンブロット法による Taf11p 抗原の検出
レーン 1 : 出芽酵母抽出液
抗血清は 5,000 倍希釈して使用